

日本にある五重塔 — 法隆寺五重塔が最古 —

木造なのに千年を超える

現在日本には各地に80を超える五重塔があります。明治維新以前に屋外に建立されて今でも残っているものが、22塔あります。明治以降も五重塔は建設されて、およそ60塔の五重塔が建てられています。平成に入つて、五重塔の建設が多くなつていて、1年に1塔以上のペースで全国のどこかで、五重塔が建てられています。

五重塔に似た建造物として、三重塔があります。明治維新以前に建立されて現在も残つてゐるだけで、三重塔は105塔あります。現在は残つていませんが、七重塔や九重塔も建てられました。何故か四重塔や六重塔はなく、奇数重になつています。

古い五重塔

明治維新以前に建てられた五重塔22塔は、すべて国宝か国の重要文化財に指定されています。中でも、最も古いのが法隆寺五重塔です。

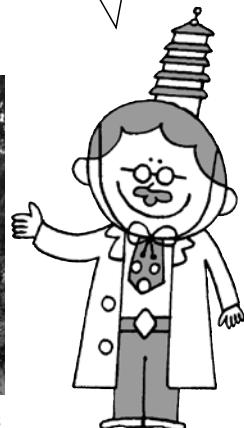
今、私たちが見ることができる法隆寺五重塔は、いつ建てられたのか実は諸説あつてわかつていません。法隆寺が創建された7世紀前半という説と、日本書紀に記載されている670年の法隆寺の火災以後の680年ごろから約30年かけて再建されたとの説もあり、はつきりとわかつていません。しかし、いざれにせよ少なくとも8世紀のはじめ以前の飛鳥時代であることは間違ひありません。

法隆寺五重塔は、日本のみならず世界最古の木造建築として法隆寺の西伽藍建造物とともに、ユネスコの



室生寺五重塔 写真提供・札幌市鈴木美知子氏

室生寺五重塔は、建築後1200年以上たつた世界で2番目に古い木造建築です。



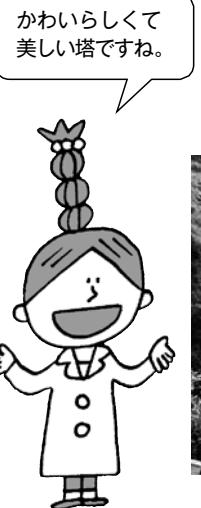
世界遺産に指定されています。このため、世界中からたくさんの見学者が毎日訪れています。法隆寺以外に、千年以上前に建てられて、現在も残つてゐる五重塔は、2塔あります。奈良県にある室生寺五重塔（800年ごろ奈良時代から平安時代初期）と、京都市にある醍醐寺五重塔（951年）です。

高い五重塔

もっとも背が高いのは京都市東寺（教王護国寺）の五重塔で高さは54・8メートルあります。屋外にあってもつとも背が低いのが室生寺の五重塔で、高さ16・1メートルです。国宝に指定されている中には、屋内に設置されている背丈の低い五重塔が2塔あります。

一口メモ

明治維新前に屋外に建てられて現在残つている五重塔は22。もっと古いのは法隆寺五重塔で、1300年以上の歴史をもつ。もっと高いのは、京都東寺の五重塔で約55メートル。



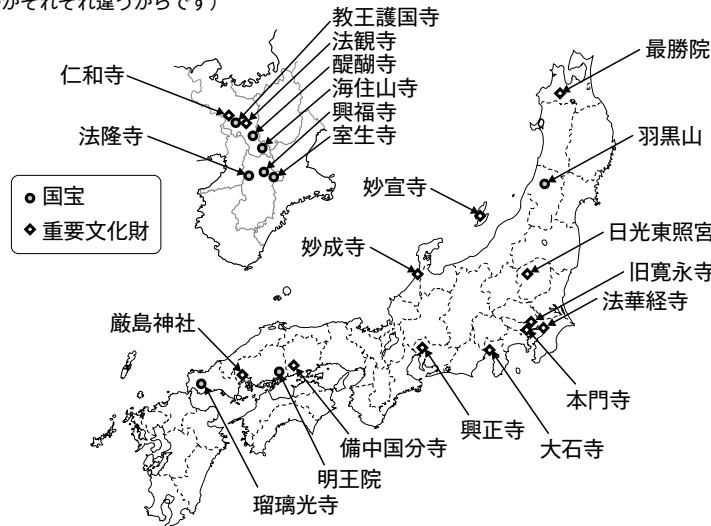
かわいらしくて美しい塔ですね。

築後1000年を超える五重塔

明治維新以前に屋外に建てられ現在残っている五重塔とその分布

No.	名称(五重塔)	所在地	建立年	総高(m)	文化財指定	備考
1	法隆寺	奈良県生駒郡斑鳩町	710年以前	31.45	国宝	世界最古の木造建築
2	室生寺	奈良県宇陀郡室生村	780~805年	16.18	国宝	
3	醍醐寺	京都府京都市伏見区	951年	37.44	国宝	
4	海住山寺	京都府相楽郡加茂町	1214年	17.7	国宝	
5	明王院	広島県福山市草戸町	1348年	29.14	国宝	
6	羽黒山	山形県東田川郡羽黒町	1377年	29.2	国宝	
7	厳島神社	広島県廿日市市宮島町	1407年	28.38	重要文化財	
8	興福寺	奈良県奈良市登大路町	1426年	50.1	国宝	
9	法觀寺	京都府京都市東山区	1440年	36.4	重要文化財	
10	瑠璃光寺	山口県山口市香山町	1442年	31.2	国宝	
11	本門寺	東京都大田区池上	1607年	29.47	重要文化財	
12	妙成寺	石川県羽咋市滝谷町	1618年	34.18	重要文化財	
13	法華経寺	千葉県市川市中山	1622年	30.8	重要文化財	明治の改修で心柱懸垂式
14	仁和寺	京都府京都市右京区	1637年	32.7	重要文化財	
15	旧寛永寺	東京都台東区上野公園	1639年	32.3	重要文化財	
16	教王護国寺	京都府京都市南区九条町	1644年	54.84	国宝	木造五重塔最高高さ
17	最勝院	青森県弘前市銅屋町	1666年	31.2	重要文化財	
18	大石寺	静岡県富士宮市上条	1749年	33.4	重要文化財	
19	興正寺	愛知県名古屋市昭和区	1808年	30.0	重要文化財	
20	日光東照宮	栃木県日光市山内	1818年	31.8	重要文化財	心柱懸垂式高高
21	妙宣寺	新潟県佐渡市阿仏坊	1825年	24.0	重要文化財	
22	備中国分寺	岡山県総社市上林	1837年	36.55	重要文化財	

(筆者注：五重塔の高さは、文献などによりかなりバラツキがあります。これは塔のどこからどこまでを測るかがそれぞれ違うからです)



いずれも奈良市にある元興寺五重塔（高さ5・5メートル）と海龍王寺五重塔（高さ4メートル）で、2塔とも国宝に指定されています。

神社の中や動物園の中にある五重塔

五重塔は仏陀の墓としての性格を持つ仏教施設です。したがって、多くの五重塔は仏教寺院の中に建っています。しかし、中には神社の中に建てられている五重塔があります。広島県の厳島神社五重塔と日光東照宮の五重塔などです。日光東照宮は徳川家康を神として祀る神社です。

日本に仏教が伝来して以来、仏教と伝統的な神道は、敵対するというよりは融合・併存する関係にあります。したがって江戸時代以前では、神社の中に仏教施設である五重塔が建てられることに違和感はなかったのです。明治政府が行つた神道と仏教を分離する政策から廃仏毀釈運動がおこり、多くの仏教施設が破壊されました。しかし日光東照宮と厳島神社の五重塔は当時の人々の知恵で、残されました。上野動物園の中には五重塔があります。これも元々上野東照宮の一部と

して建造されましたが、明治になつて寛永寺の所属になつて、戦後寛永寺から東京都に寄贈されたのです。上野東照宮の参道から五重塔はすぐそばに見えるのにもかかわらず、フェンスで遮られて東照宮側からは近寄ることはできません。

ひつそり佇む五重塔

法隆寺や日光東照宮は、訪れる観光客が多く、いつもにぎわっています。お寺の境内にある五重塔は、お寺を訪れた人が五重塔に立ち寄っていきます。それに対してほとんど訪れる人もなく、林の中に佇む五重塔もあります。山形県鶴岡市にある大石寺五重塔や静岡県富士宮市にある羽黒山五重塔


コーヒーブレイク
筆者は五重塔を訪ねて、対面した五重塔にあだ名をつけて楽しんでいます。法隆寺は堂々たる古武士。日光東照宮は大金持ちのお嬢様。上野の五重塔は実家に戻れなかつたわけあり妻。室生寺は森の聖少女。

五重塔のルーツ——インドのストゥーパー——

インドにある五重塔のルーツ

五重塔のルーツは、紀元前のインドで作られた仏陀のお墓としてのストゥーパにあります。ストゥーパはサンスクリット語で、漢字になつて卒塔婆になりました。卒塔婆は現在では、お墓に行くと見ることができます。木の札のことですが、もともとは仏陀の墓としての仏塔を指すのです。日本にある五重塔や三重塔は、印度で建てられた仏塔の形を変えた姿なのです。

紀元前270年にマウリヤ王朝第3代目の王としてアショカ王が即位しました。アショカ王は、仏教を信じて仏教を広めるために全国にたくさんのストゥーパを造りました。いくつ造ったのかは明確ではありませんが、いい伝えでは84000カ所ものストゥーパを造ったといわれています。この仏塔には、それまでイ

ンド国内に8カ所にあった仏陀のお墓のうち7カ所から仏陀の骨を取り出して、納めました。

84000カ所は大げさだとしてもインド国内にたくさん造られたであろうストゥーパのうち、現在残っているのは、インドの中心部にあるサンチーの遺跡の中にある仏塔と、パキスタン北部タキシラにある仏塔だけです。インドでは（西暦）500年ころから仏教がすたれ、のちに入ってきたヒンズー教徒やイスラム教徒によって仏教施設は徹底的に破壊されました。

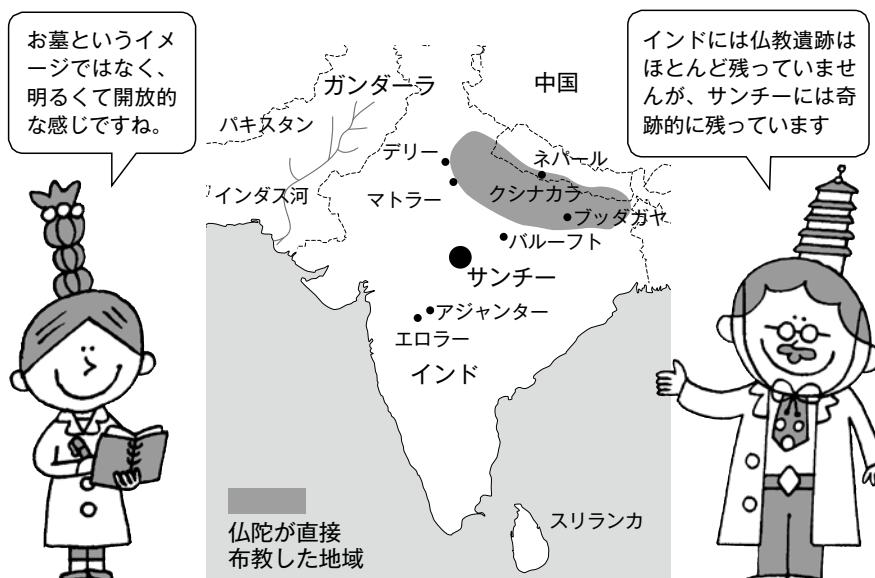
サンチーの仏塔

たまたま小高い丘の上にあつてイスラム教が入ってきたときにはジャングルの中に埋もれて、忘れ去られていたサンチーの遺跡は、破壊を免れ、アショカ王が創建した当時の様子をとどめていました。1818年

に虎狩にジャングルに入ったイギリス人によって発見されたのです。

サンチーは古代の商業都市ヴィディシャー郊外の丘の上にあつた大きな仏教施設で、380×200メートルの敷地の中に、50もの施設がありました。サンチーには3つのストゥーパがあり、そのうち最も大きな第1ストゥーパに仏陀の舍利（骨）が収められていました。第1ストゥーパは、その中心に直径36メートル高さ16メートルのドーム状の構築物があります。基壇と呼ばれる土台の上に、石板を饅頭の形に積み上げアスファルトを日地にしています。アシヨカ王が建てたころは、この半分程度だったとされ、長い時間をかけて信徒たちが寄進をして増築してこの

五重塔のルーツ インドの仏教遺跡サンチー



一ロメモ

五重塔のルーツは紀元前3世紀にインドで作られた仏陀のお墓としてのストゥーパ。東西交易で栄えた商人たちに支持された在家信徒の仏教の中心施設だった。